

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和4年8月22日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 岡崎つよし

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>観光振興について</p> <p>長久手市観光交流協会は令和2年6月に古戦場郷土資料室の一角に、観光交流サポートセンターをオープンした。より多くの方に来訪してもらえるよう長久手市を観光先として選んでもらうために、市はあらゆる手法を講じてPRに努めて、観光誘客やシティセールス等を観光交流協会と連携すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 本年11月1日、愛・地球博記念公園内にジブリパークが開園し、来年にはNHK大河ドラマ「どうする家康」が放送予定である。多くの方が長久手市を訪れることになるが、こういった方々への観光案内の中心を担うのは、現在の観光交流サポートセンターである。市はこれらの状況に対応するために、観光交流協会との連携をどのように考えているか。</p> <p>(2) 長久手市を訪れる方は、観光交流協会、又は市のホームページを見て本市と関連のある情報を取得すると思われる。観光交流協会、市商工会、長久手市がしっかりタグを組み情報発信していかなければならないと思うが考えを伺う。</p>	

2	<p>認知症対策について</p> <p>認知症者の人数は、2015年推計で約525万人、高齢者の約7人に1人の割合であったものが、2025年には推計で700万人を突破し、65歳以上の高齢者約5人に1人の割合になると見込まれている。更に、2040年には約4人に1人の割合まで増えることが予測されている。また、65歳未満の若年性認知症は、国の調査によれば、2020年3月時点において、全国で3.57万人と推計されている。</p> <p>(1) 本市の現状はどのようなか。</p> <p>(2) 認知症初期集中支援チーム、認知症サポーターの活用などの取り組みはどのようなか。</p> <p>(3) 認知症になった人の家族等、介護者の支援はどのようなおこなっているか。</p> <p>(4) 認知症の正しい知識と理解を持ち、見守りや保護に協力する認知症サポーターを増やすために、インターネット配信による養成講座を開催しないか。</p>	
3	<p>公園の整備について</p> <p>(1) 公園は多様な市民の憩いの場である。立ち枯れている木々を多く見かけるが植え替え等整備する計画はあるのか。</p> <p>(2) 「ハチに注意」の看板があるが、仮に自治会等で駆除を行う場合、スズメバチの巣の駆除費用を交付するような助成をしていかないか。</p> <p>(3) 雨が上がっても水たまりが何日も続き、ブランコ等が使用できない。早期にそのような状況を改善しないか。</p> <p>(4) 健康遊具を設置している公園は何か所あるか。</p>	